

## 『運行管理者試験 問題と解説 旅客編 令和2年3月受験版』

## お詫びと訂正のご案内

『運行管理者試験 問題と解説 旅客編 令和2年3月受験版』をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。  
本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。  
訂正してお詫び致します。

頁数等	内容	
第1章 <b>24 運送事業者による 運行管理</b> ◆解答＆解説 135 ページ <b>【2】【解答 4】</b> 選択肢4の解説	誤	4. 「新たに選任した運行管理者」とは、 <b>当該事業者において初めて選任された者</b> のことをいう。他の事業者に選任されていた者は、新たに選任した運行管理者に該当しないため、基礎講習又は一般講習を受講させなければならない。「講習の種類等を定める告示」第4条（基礎講習及び一般講習）第1項・「運輸規則の解釈及び運用」第48条の4（運行管理者の講習）第2項。
第5章 <b>2 配置基準</b> ◆解答＆解説 422 ページ <b>【5】【解答(1)－2 (2)－1】</b> 《往路運行の実車運行区間の途中における休憩の確保》の解説 ※下から13行目	正	4. 「新たに選任した運行管理者」とは、 <b>当該事業者において初めて選任された者</b> のことをいう。他の事業者に選任されていた者は、新たに選任した運行管理者に <b>該当するため</b> 、基礎講習又は一般講習を受講させなければならない。「講習の種類等を定める告示」第4条（基礎講習及び一般講習）第1項・「運輸規則の解釈及び運用」第48条の4（運行管理者の講習）第2項。
		◎往路の実車距離は400km以下（330km）であるため、運転時間概ね2時間毎に連続15分以上の休憩を確保していれば休憩の確保の限度に違反していない。夜間ワンマン運行の実車運行区間の途中における休憩は、30分＋1時間30分運行した後に20分休憩、2時間運行した後に20分休憩、1時間＋30分運行した後に降車しており、実車運行区間における運転時間2時間毎に連続15分以上の休憩が確保できているため、違反していない。
		◎往路の実車距離は400km以下（ <b>390km</b> ）であるため、運転時間概ね2時間毎に連続15分以上の休憩を確保していれば休憩の確保の限度に違反していない。夜間ワンマン運行の実車運行区間の途中における休憩は、30分＋1時間30分運行した後に20分休憩、2時間運行した後に20分休憩、1時間＋30分運行した後に降車しており、実車運行区間における運転時間2時間毎に連続15分以上の休憩が確保できているため、違反していない。